

Hand - in - Hand

江南市立布袋北小学校

No.12

12月8日

☆『人権週間』☆〔全国一斉人権週間12／4(日)～10(土)〕

この人権週間に本校では、運営委員会児童が毎日3名ずつ、一人一人自分の「人権についての思い」を給食時の放送で伝えました。

チクチク言葉をなくしてふわふわ言葉を広めましょう。ふわふわ言葉は、「ありがとう」「すごいね」などの言葉です。これを使えば、楽しく、優しく、笑顔いっぱい、明るいクラスや学校になります。いじめもなくなります。
「STOP チクチク言葉 広めようふわふわ言葉」。そして「なかよし100%」にしていきましょう。【4年 稲山ゆめ乃】



ぼくは、差別のことについて考えました。みなさん、差別ということを知っていますか。差別とは人を仲間はずれにすることです。その差別を絶対にやっつけてはいけないと考えました。だからクラスの友達を大切にします。みなさんも絶対に差別をしないで下さい。次にいじめのことです。いじめは人を傷付けてしまうので絶対にやらないでください。もしいじめている人がいたら勇気をもって注意をしましょう。そうしたら、いじめはなくなります。【4年 安井達哉】



『いじめ』。その言葉を聞くと、多くの人は暴力をふるったり、悪口を言ったりすることを思い浮かべます。しかし、あなたの言った一言、あなたのちょっとした行動、それがもういじめになっていることがあります。今、いじめがないと思っているクラスも、もしかしたら小さないじめが始まっているかもしれません。だから、これからは、一言一言の言葉、一つ一つの行動を見直して、生活しましょう。【6年 社本妃奈美】

ある日、30人ぐらいで遊んでいました。それが最後に、けんかになって野球がやりたい人とサッカーがやりたい人に分かれてしまいました。最初みんなでサッカーをやっていた、グローブをもってきた人たちが「そろそろ野球をやるの」って言う人が始まりました。ぼくは野球側でした。野球側の人は「さっさとサッカーの人の人に向かって「もうサッカーやったから、野球でいいじゃないか」と言い返しました。それに対してサッカー側は、「グローブがないと野球なんかできんじゃん」と言い返しました。それを聞いて野球側の人が「サッカーをやりたい人は、サッカーやれば」と言いました。野球側とサッカー側で大勢での激しい口げんかになりました。そのあと野球側は野球を、サッカー側はサッカーをして、お互いにいっさいしゃべりませんでした。そのときぼくは、野球でもサッカーでもない、みんなが楽しめる遊びをすればいいのと思いました。【5年 野口貴人】

ぼくは、人権とはその人がもつ権利のことだから、人をいじめるのはいけないと思います。また、高齢者を差別すること、その人の人権をおかすことになると思います。相手を傷つけることは、自分を傷つけるということです。だから、人を大切にすること、自分を大切にすることになります。ぼくは人を大切にしていきたいと思います。【6年 瀧村智哉】

私のクラスでは、「いじめSTOPポスター」や「カルタ」を作ったり、クラス全員で遊んだりしました。そういうことをすることで、みんなが仲良しになっていけばいいなと思います。あまり仲良くない子とでも遊んでいくうちに、相手のいいところが見つかって仲良くなります。するといじめはなくなっていくと思います。いじめをして得することはありません。みんなが仲良くして、いじめのないクラスを作っていきましょう。【5年 原田里瑛】



「嫌がらせをする」「無視をする」はいじめです。いじめは相手にいやな思いをさせるので、絶対にしてはいけないことです。いじめをすると人権である「生きる権利」がなくなります。人権とは、誰もがもっている大切な権利です。だから、いじめをなくすために「チクチク言葉よりふわふわ言葉」を使うようにしましょう。【4年 加藤尚也】